

土崎で創刊された『種蒔く人』の表紙には、金子洋文のアイデアでミレーが描いた「種蒔く人」が採用されました。その後、東京で再刊された雑誌の表紙を担当したのが、画家の柳瀬正夢（やなせまさむ）です。1900（明治33）年、愛媛県に生まれた柳瀬は、15歳の若さで日本美術院の公募展に入選し「早熟の天才」と呼ばれます。

1921（大正10）年に行なわれたフランスの詩人、ポール・ヴェルレーヌの没後五年祭に誘われたことをきっかけに小牧近江、金子洋文、今野賢三と知り合い『種蒔く人』に参加することになりました。柳瀬が表紙の中央に描いたのは、なんと炎を吹き出す爆弾でした。小牧は後にこの時のことを次のように語っています。

「今までのものはどうもおもしろくない、はつらつとしたものがないというのがおぼろげな新しい雑誌の表紙への構想だったのですが、『我等』の表紙をかいているヤナセならやってみようと思った」

「次はマークをどうしようかということになったところ、ヤナセがそりゃばくだんがよかろうという。ばくだんはちょっと物騒だがというと、なに、なげなければいいんだろうということで、ばくだんのマークがきまったのです」

『黎明の群像－苛烈に生きた「種蒔く人」の同人たち』より抜粋

このほか、風刺画をはじめとして版画、写真、俳句など幅広いジャンルをほぼ独学で学び多彩な活躍を見せますが、1945（昭和20）年5月25日夜、新宿駅で空襲に遭い亡くなりました。わずか45年の短すぎる生涯でした。



↑1921（大正10）年10月に出版された『種蒔く人』東京版の創刊号。当館の「種蒔く人」資料室に展示しているこちらの資料は、出版当時のものと伝えられています。

「LA SEMANTO」「種蒔く人」「創刊号」「種蒔き社」の文字も柳瀬による、手書きの文字です。

（資料：今野賢三資料）

新任職員による 図書館員のつぶやき

市役所入所37年目にして初の図書館勤務となりました。また、土崎の地で仕事をするのも初めてなのですが、幼・小・中と過ごした土地ですので、いくらか安堵しています。

新しいことを覚えるには時間がかかってしまう年齢ではありますが、図書館を利用されるみなさんが心地よく感じていただけるような環境づくりに努めたいと思っています。

(I)

4月から土崎図書館で働くことになりました。土崎図書館のことも、土崎地域のことも、まだまだ知らないことばかりで毎日あたふたしていますが、少しずつ覚えていけたらと思っています。まずは図書の配架場所からスタートです。

皆さんとお会いできるのも楽しみにしています。どうぞよろしく願いします！

(N)

あおぞらおはなし会へようこそ！

今年も土崎図書館ボランティアおはなしの会による「あおぞらおはなし会」を開催します。いつものおはなし会とはひと味ちがう、青空の下で開放的におはなしの世界を楽しめる機会です。手品やクイズ、大型絵本もあります！ご家族でのご参加をお待ちしております。

日時 令和8年5月30日（土）

午前11時から11時40分まで

会場 きららとしょかん土崎図書館 屋上

（雨天・猛暑の場合は2階研修室）

対象 2歳から小学2年生までの子どもとその保護者

定員 先着40名

参加料 無料

申込み 令和8年5月2日（土）午前10時より

カウンターまたは電話で受け付け

問い合わせ（845-0572）

※気候により飲み物や帽子など、熱中症対策のできるものをお持ちください。



「ことばがきみのはねになる」こどもの読書週間スタート！

4月23日から5月23日までの約3週間は「こどもの読書週間」です。

当館では、この期間に合わせて『この本、いいな』をテーマに昨年度の「小中学生の選書体験」で選ばれた本、約80冊を展示しています。児童や生徒が、司書の目線になって一生懸命に選んだ本です。ぜひ企画展示1のコーナーをご覧ください。

展示期間は5月17日（日）までです。

5・6月の行事予定

おはなし会○（まるっ）	5/21
あおぞらおはなし会	5/30
おはなし会○（まるっ）	6/18
おはなしの会	（第1.3.4土曜）
おりがみの会	（第2土曜）
対面朗読・テレフォンサービス	（火・木曜）

新しく入った本（一般書）の紹介

菅義偉 官邸の決断

菅 義偉／著
ダイヤモンド社 B 312.1 入

「国民にとって当たり前」の政治を実行する国民目線の政治家を志し、秋田県出身者として初の内閣総理大臣となった菅義偉。官房長官として安倍長期政権を支え、自身も総理を務めたキーパーソンが、総理官邸で過ごした計8年9か月を振り返る。



腸疲労

40代から必要な消化・吸収の新習慣

平島 徹朗・秋山 祖久／著
KADOKAWA 493.46 ㊦

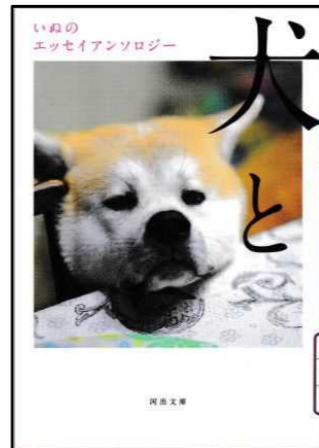
日本人の平均寿命と健康寿命には、男女ともに約10歳の乖離があります。腸が健康であれば、健康寿命を延ばせる可能性が高くなりますが、乱れた生活習慣により「腸疲労」状態の人が激増しています。この本では、4週間で健康な腸に生まれ変わる「腸活」の方法を紹介します。



犬と いぬのエッセイアンソロジー

佐藤 愛子・小川 糸ほか／著
河出書房新社 914.68 イ

ある日家族となってくれた、血はつながらないけれど気持ちのつながる愛犬たち。その子のことを書くと、手放しで優しい言葉になるのではないだろうか。出会い、日常、そして別れ…。犬と過ごす時間を描いた、古今の作家による39篇のエッセイアンソロジー。



おすすめ BOOKリスト

今回のテーマ
〇〇紀行

- ① 東北おやつ紀行
市川 慎子／著 中央公論新社 383 イ
- ② 世界カフェ紀行 5分で巡る50の思い出
中央公論新社／編 中央公論新社 914.68 セ
- ③ 異界にふれるニッポンの祭り紀行
大石 始／著 産業編集センター 386.1 オ

新しく入った本（児童書）の紹介

ノラネコぐんだんはるなつあきふゆ

きせつにしたしむえほんさいじき

工藤 ノリコ／原作 みすみ ともこ／ミニチュア制作
白泉社 E㊦（3歳頃から）

「ノラネコぐんだんシリーズ」に登場するキャラクターたちと一緒に、月ごとの行事や季節の植物、生きもののことが学べる絵本です。季節の移り変わりをもっと楽しく過ごせるヒントもたくさん載っています。



世界一のフルい子ゴードン

アレックス・ラティマー／作 中井 はるの／訳
小学館 93㊦（低学年から）

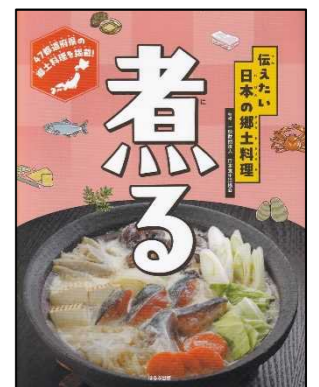
ゴードンは世界一フルい子。信号機のボタンを何百回も押して大渋滞にさせたり、仲間にかみついたりします。そんなある日、ゴードンにとってもひどいことをされたアンソニーが、花をくれました。ゴードンは、その花のことが頭から離れなくなってしまいます。



伝えたい日本の郷土料理 煮る 47都道府県の郷土料理を掲載！

日本食生活協会／監修
ほるぷ出版 38㊦（高学年から）

その土地の気候や人々の知恵などから生まれた郷土料理。あなたはいくつ知っていますか？この本では、「煮る」をテーマに日本全国の郷土料理を紹介。秋田県は、「しょつつる鍋」「きりたんぼ鍋」が掲載されていますよ。たくさんの写真とともに、各地の歴史やくらしを見てみましょう。



「紀行文」とは旅先での体験や見聞を書いた文のこと。『土佐日記』『仏国記』など古今東西、様々な紀行文がありますが今回は「祭り」など、テーマを軸にした旅の紀行文を紹介します。①は東北での様々なおやつとの出会いを綴った紀行文。山形のとち餅や福島の源平団子などその土地にしかない味と風景の記録が、どこか懐かしい気持ちにさせてくれます。旅先での異国情緒を感じられるのが②。各界著名人たちが留学や旅で訪れたカフェに着目し、思い出を語ります。世界各地のカフェの様子や現地の人々との交流から、異国の空気が薫る1冊です。③は日本全国18カ所の祭りを取材したもの。「恐ろしいけどありがたい風物詩」として男鹿のナマハゲも紹介されます。臨場感たっぷりの紀行文を読んでみませんか？